



広報

新 城

幸せ上々、みやこのじよう
日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

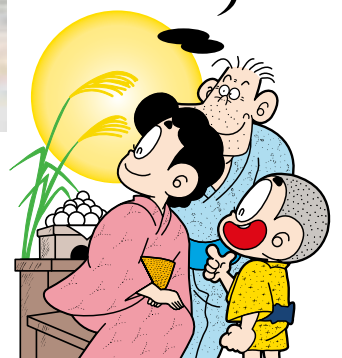
2015



10
October.2015
《vol.118》

特集

- 買い物支援カーが買い物をお手伝いします
- マイナンバー制度が始まります
- 都城市市民意識調査結果 ほか



買い物支援カーが 買い物をお手伝いします



人口減少や高齢化により、身近に商店などがなかったり遠かったりして、食料品などの買い物が難しい中山間地域（買い物困難地区）などで生活する皆さんを支援する、自動車移動販売「買い物支援カー」がスタート。対象地域に住んでいる皆さんの生活が便利になります。

◎問い合わせ 商工政策課 ☎23-2983

減少した商店

食料品や日用品などを扱う市内の小売店は、年々減少していて、一部の地域では、日々の生活に必要なものを気軽に買うことが難しくなっています。

商業統計調査によると、市内で平成16年に2,802店舗あった商店は、平成19年には205店舗減少して2,597店舗となっていて、商店がない地域もみられます。

市内の買い物困難地区

本市では、65歳以上の高齢者人口が28・5割となっています。今後さらに高齢化が進むと、日常生活で必要なものを、身近な場所で購入することが困難になります。そして、そのような状況がより深刻化していくことが懸念されています。

市では、高齢化率が30割以上で、バスの運行本数が1時間に1本未満の地区や店舗数が少ない地区を、買い物困難地区として指定しました。

買い物支援カーとは

今回、買い物困難地区を対象に、生鮮品などの日常生活に必要なも

のを購入できない人が、気軽に買い物できる機会を提供する「買い物支援カー」が運行を開始。

市内9地区での移動販売を通して、買い物に困難な皆さんのお手伝いをします。

買い物支援カー2台が 巡回します

西岳地区と庄内地区は「あいもこいも号（株ながやま）」が、山之口地区と高城地区は「げんきカー（グリーンコープ生活協同組合みやざき）」が、それぞれ巡回します。

また、中郷地区、五十市地区今町・大岩田町、姫城地区下長飯町、志和池地区、山田地区でも随時運行を始めます。



買い物支援カーが販売する場所

買い物支援カーが商品を販売する場所は、自治公民館や閉店した店舗の駐車場など、あらかじめ決められた公道以外の安全な場所です。

また、対象地区内でのみ販売します。対象地区外と移動途中の販売はできません。

なお、地区によって販売場所や販売時間が異なりますので、詳しくは各事業者にお問い合わせください。



買い物支援カーの運行日

対象地区を巡回する買い物支援カーの運行日は原則、次の通りです。

【あいちもこいも号】

月・木曜日

美川町下川内、上川内、後川内地区

火・金曜日

高野町馬渡、荒川内、大塚地区

水・土曜日

吉之元町田野、折田代地区および庄内町の一部

問 (株)ながやま ☎37-3380

【げんきカー】

月曜日

山之口町青井岳、永野、麓地区および高城町有水地区の一部

火曜日

高城町大井手、桜木地区の一部、および山之口町富吉、花木地区の一部

水曜日

高城町有水、四家地区の一部

木曜日

山之口町青井岳、麓、富吉、花木地区の一部

金曜日

高城町石山、有水、四家地区の一部

問 グリーンコープ生活協同組合みやま ☎38-7070

気軽に、便利に買い物ができます

対象地区では、買い物支援カーの運行が始まり、気軽に買い物ができるようになりました。利用者の方からは「少しの商品を遠方まで買いに行かなくていいので便利」「今まで週末にまとめて商品を購入していたが、新鮮な魚介類などを手軽に購入できるのがうれしい」「買い物と合わせて、地域の人たちと会話ができるのも楽しみ」と言った声が寄せられています。

今後、事業者は、利用者の意見を参考にしながら、商品の入れ替えをしたり、販売場所を増やしたりするなど、利用者の利便性の向上に取り組んでいきます。

事業者から

今回、市内2事業者の協力により「買い物支援カー」の運行が始まりました。

あいちもこいも号を運行する、(株)ながやま代表取締役永山幸弘さんは「買い物支援カーを運行することで、地域の皆さんの買い物のサポートすることはもちろん、住民同士が顔を合わすことで、地域のつながりを深めるお手伝いができるのがうれしい」。また、グリーンコープ生活協同組合みやまき理専務鈴木信子さんは「人と人との出会える場を作っていききたい。今後、地域のイベントにも参加していきたい」と、新たな取り組みに地域の発展を願っていました。

インタビュー



西岳地区自治公民館連絡協議会会長 坂元 和雄さん

西岳地区の高齢者は、近くに商店がないために、週末になると家族と一緒に買い物に行ったり、近所の人に頼んで買って来てもらったりしていました。

今回、買い物支援カーが導入されることで、さまざまな商品を購入できるようになります。また、買い物だけではなく、地域の皆さんのつながりを深めることができます。定期的に販売にきてもらえるので、あまり顔を見ることがない人同士の触れ合いや、情報交換を通して高齢者の見守りにも役立てながら、地域の皆さんに喜んでもらいたいですね。

あなたにもマイナンバーが通知されます

マイナンバー制度 (社会保障・ 税番号制度) が始まります



マイナンバー制度は、国・県・市などの情報のやり取りを円滑にして手続きを簡単にすることで、行政の無駄をなくし、行政サービスを必要とする人を支援することを目的に作られました。11月から、住民票の世帯ごとに、マイナンバーが記載された紙製の「通知カード」が送付されます。「通知カード」は世帯主宛に簡易書留で郵送し、転送依頼をしても、転送先へは郵送されません。今回はマイナンバー制度や、通知カードと個人番号カードについて紹介します。

◎問い合わせ マイナンバー専用電話 (市民課内) ☎23-2774



マイナンバー制度とは

マイナンバー (個人番号) は、住民票登録のある人に割り振られる、一人一人異なった12桁の番号です。年金や医療保険など福祉に關することや、確定申告など税の手続きに利用されます。

マイナンバーのメリット

マイナンバー制度が導入されることで、行政機関での手続きが簡単になり、正確で早くなることで、給付金などの不正受給防止につながります。

行政の効率化

国や県、市などの間で情報の連携が取れることで、確認作業の重複が減り、迅速な行政支援ができます。

利便性の向上

住民票や所得証明書などの添付書類の数が減り、行政機関での手続きが軽減されます。

公平・公正な社会の実現

所得や、他の行政サービスの受給状況の把握が簡単になったり、脱税や不正受給などの防止につながったりすることで、平等できめ細やかな支援をすることができます。

どんなときに使うの??

各種手当ての申請や保険の給付など、社会保障に關することや、税の申告手続きなどでマイナンバーを使用します。

社会保障関係

- ・年金の資格取得や確認給付
- ・雇用保険の資格取得や確認給付
- ・医療保険の給付請求
- ・児童手当の現況届け
- ・生活保護の申請など

税関係

- ・税務署などに提出する確定申告の
手続き、届出書、調査
- ・市県民税の申告
- ・勤め先に提出する扶養親族届け
など

マイナンバーの通知

11月から、マイナンバーを知らせる「通知カード」が、住民票の住所の世帯主宛に、簡易書留で送られます。

紛失しないように、大切に管理をしてください。



マイナンバー制度が始まります

さまざまな手続きでマイナンバーが必要になります

平成28年1月からは、社会保障や税の申告などで、マイナンバーが必要になります。

11月から
住民票の住所に、マイナンバーの通知書が届きます

1月から
年金や医療、雇用保険、税の手続きでマイナンバーが必要になります

個人番号カードとは

個人番号カードは、マイナンバーのほかに、氏名、住所、生年月日、性別、顔写真が印刷されたカードです。ICチップが搭載され、身分証明書として利用できるほか、各種行政手続きの電子申請で利用することができます。



個人番号カードの申請手順

通知カードの受け取り

簡易書留で通知カード（マイナンバー）が届きます。通知カードは中身を必ず確認して、大切に保管してください。
●書留の封筒には次のものが入っています
・12桁の個人番号が書かれた「通知カード」
・「個人番号カード」の申請書と返信用封筒
・説明書

申請

郵送またはオンラインで「個人番号カード」を申請します。
●郵送の場合
申請書に本人の顔写真を貼り、返信用封筒に入れて投函します
●オンラインの場合
スマートフォンなどで顔写真を撮影し、QRコードを利用して申請します

受け取り

1月以降に「交付通知書」が届いたら、本人が市の窓口で受け取ります
●「個人番号カード」の受け取りには、次の3つが必要です
・「通知カード」
・「交付通知書」
・運転免許証など、本人確認ができるもの

A Q

個人情報の漏えい対策は大丈夫？

マイナンバー制度では、個人情報と同じところで管理されることはありません。例えば、国税に関する情報は税務署に、児童手当や生活保護に関する情報は市役所であり、これまでどおり、情報は分散して管理されます。分散して管理することで、次から次に情報が漏れることはありません。

申請方法が分からない人はお手伝いをします

希望する人には、オンライン申請のお手伝いをします。送付された「個人番号カード」の申請書を必ず持参ください。

- 日時 11月2日(月)～平成28年3月31日(木)（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）8時30分～17時15分
- 場所 市役所7階特設会場
各総合支所市民生活課
※写真は会場で撮影します

異動の手続きについて

転入や転居、婚姻などで氏名が変わるときは、通知カード、または個人番号カードの記載内容を書き換える必要がありますので、カードを持参して手続きをしてください。

マイナンバー制度に関する問い合わせ

全国共通ナビダイヤル
☎0570-120-0178
(9時30分～20時)
※土・日曜日、祝日は17時30分まで。年末年始を除く
IP電話の人は
☎050-13816-9405
※所定の通話料がかかります

第10回 都城市市民意識調査

ふれあいアンケート結果

市では、市民の意見を市政に反映させるため、6月に「都城市市民意識調査(ふれあいアンケート)」を実施しました。調査に協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

今回は、20歳から79歳までの約12万人の市民の中から無作為に選んだ4,000人を対象に、本市の住み心地や取り組み、みどりと景観、男女共同参画意識、都城志布志道路、行財政改革、市町村合併、人口減少対策、公共施設のあり方、市政に対する意見について調査を行いました。

回答者は1,340人(男性553人・41%、女性761人・57%、無回答26人・2%)で、回答率は34%でした。なお、詳細な結果は、市のホームページで紹介します。

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

◆年代

| 年代 | 回答者 | 比率 |
|-----|--------|------|
| 20代 | 73人 | 6% |
| 30代 | 162人 | 12% |
| 40代 | 177人 | 13% |
| 50代 | 227人 | 17% |
| 60代 | 399人 | 30% |
| 70代 | 284人 | 21% |
| 無回答 | 18人 | 1% |
| 計 | 1,340人 | 100% |

◆世帯構成

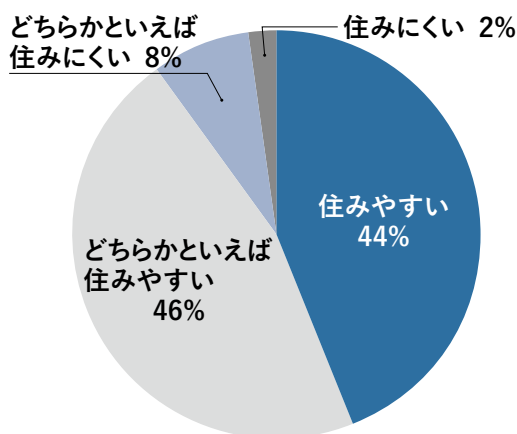
| 世帯 | 回答者 | 比率 |
|-----|--------|------|
| 単身 | 142人 | 11% |
| 夫婦 | 567人 | 42% |
| 二世帯 | 521人 | 39% |
| 三世帯 | 66人 | 5% |
| その他 | 18人 | 1% |
| 無回答 | 26人 | 2% |
| 計 | 1,340人 | 100% |

◆地区

| 地区 | 回答者 | 比率 |
|-----|--------|------|
| 姫城 | 89人 | 7% |
| 小松原 | 63人 | 5% |
| 妻ヶ丘 | 174人 | 13% |
| 祝吉 | 148人 | 11% |
| 五十市 | 126人 | 9% |
| 横市 | 101人 | 8% |
| 沖水 | 124人 | 9% |
| 志和池 | 41人 | 3% |
| 庄内 | 67人 | 5% |
| 西岳 | 24人 | 2% |
| 中郷 | 69人 | 5% |
| 山之口 | 57人 | 4% |
| 高城 | 77人 | 6% |
| 山田 | 64人 | 5% |
| 高崎 | 84人 | 6% |
| 無回答 | 32人 | 2% |
| 計 | 1,340人 | 100% |

◎解説 本市の住み心地については、90割の人が「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と感じていて、前年度の調査より1ポイント高くなっています。

また、年代別にみると「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と感じている人は20代の95割が最も多く、逆にもっとも少ないのは50代の86割となっています。

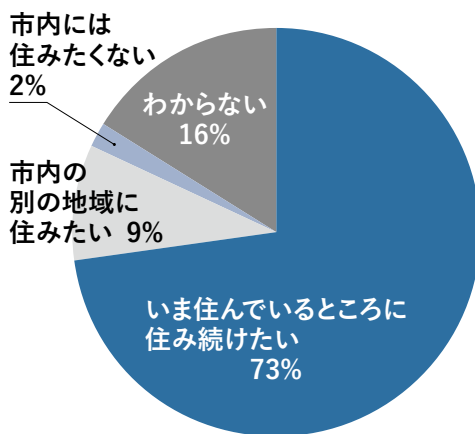


Q 都城市の住み心地をどのように感じていますか。

都城の住みやすさ

◎解説 回答者のうち、82割の人が「いま住んでいるところに住み続けたい」、「市内の別の地域に住みたい」と感じていて、前年度の調査より1ポイント高くなっています。

また、年代別にみると「都城に住み続けたい」と感じている人は、70代の92割が最も多く、逆に、最も少ないのは20代の61割となっています。



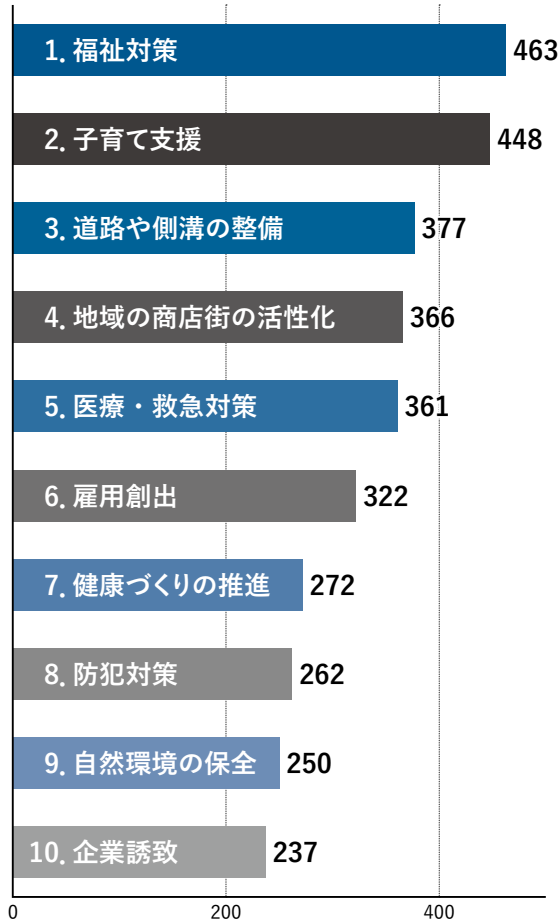
Q これからも都城市に住み続けたいですか。

ふれあいアンケート結果

本市の取り組み



市の取り組みについて、特に力をいれるべきだと思うものは何ですか。
(複数回答 上位10位)



◎解説

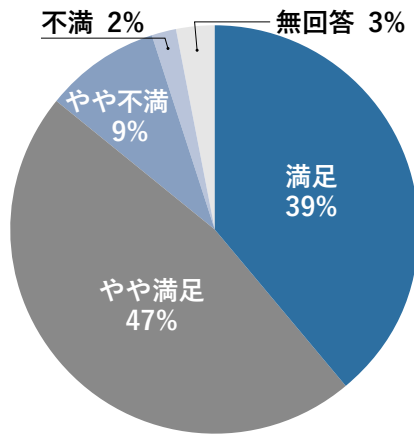
市の取り組みについて、特に力を入れるべき項目の1位は、「福祉対策」となっていて、「子育て支援」、「道路や側溝の整備」、「地域の商店街の活性化」、「医療・救急対策」の順になっています。年代別で見ると、20代・30代・40代で「子育て支援」、50代・60代・70代で「福祉対策」が1位となっています。

地区別で見ると、姫城・小松原で「地域の商店街の活性化」、妻ヶ丘・祝吉・西岳・山之口・高城・山田で「福祉対策」、五十市・横市・沖水・庄内・中郷で「子育て支援」、志和池・高崎で「道路や側溝の整備」が1位となっています。世帯別では、単身・夫婦で「福祉対策」、二世帯・三世帯で「子育て支援」が1位となっています。

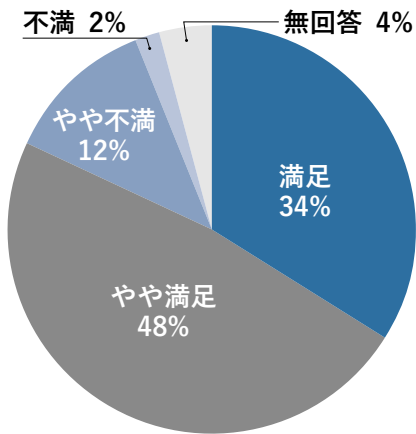
みどりと景観



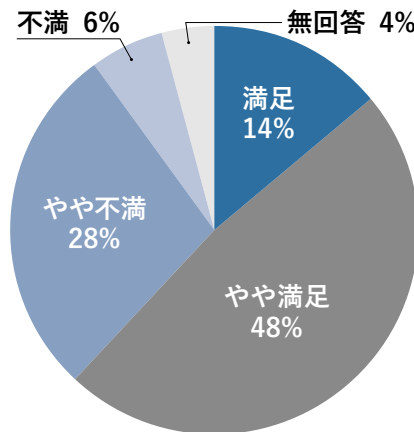
市内の樹林(緑)の多さに満足していますか。



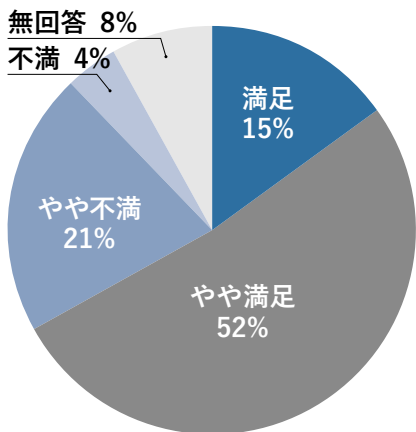
市内の田んぼや畑の風景の美しさに満足していますか。



都城市のまちなみの美しさに満足していますか。

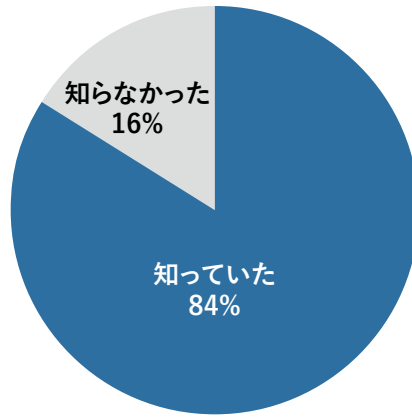


市内の文化遺産や文化財の歴史的雰囲気について満足していますか。

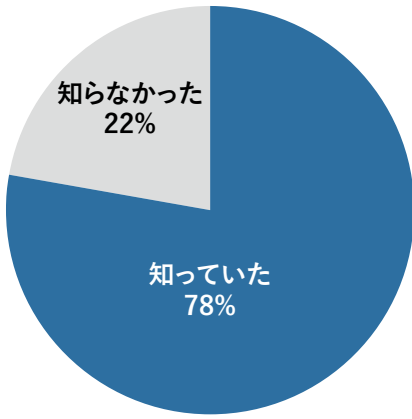


都城志布志道路

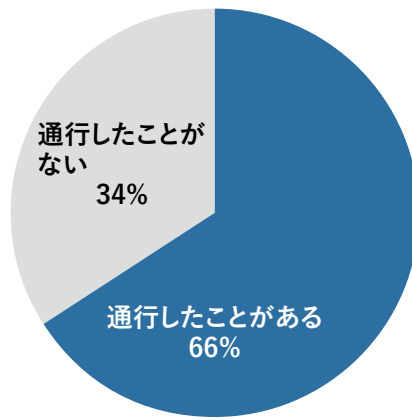
Q 都城志布志道路の計画について知っていましたか。



Q 都城志布志道路は無料で行けることを知っていましたか。



Q 都城志布志道路の開通区間を通行したことがありますか。

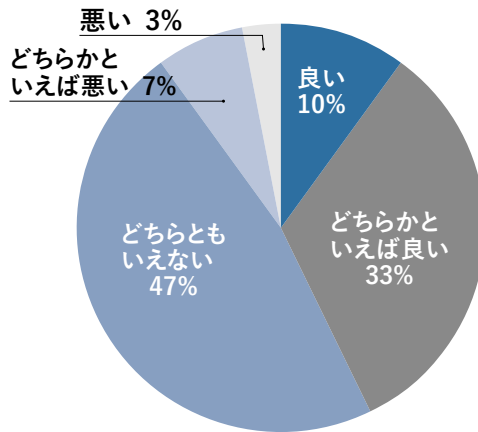


Q 地域高規格道路「都城志布志道路」の整備の必要性を広く啓発するとともに、早期全線開通に向けて取り組みの参考にするために調査しました。

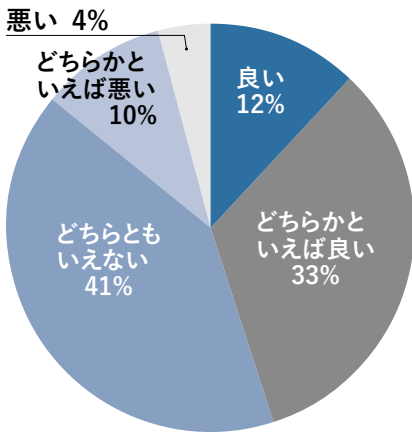
都城志布志道路の計画については、84%の人が「知っていた」と回答しました。そのうち、「都城志布志道路は無料で行けることを知っていた」は78%、「一部開通区間を通行したことがある」は66%となっています。

人口減少対策

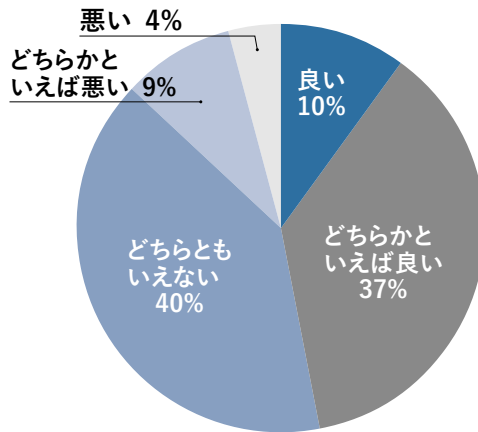
Q 地域ぐるみの子育て支援や相談体制について、どのように感じていますか。



Q 小児医療体制の充実について、どのように感じていますか。



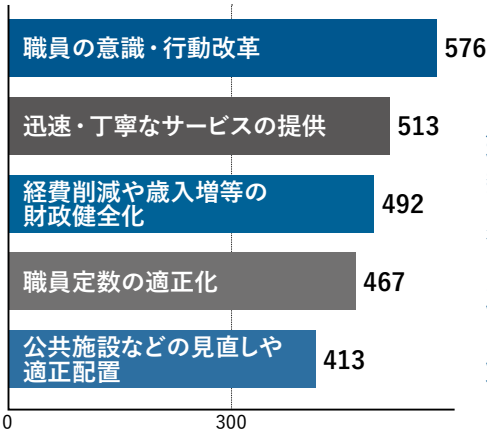
Q 子どもの保育・教育環境の充実について、どのように感じていますか。



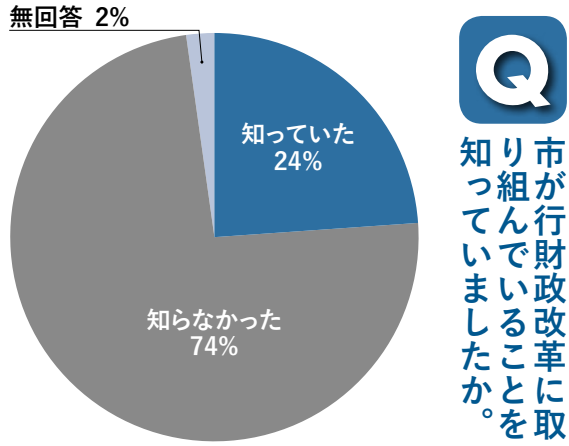
Q 全国的に人口減少問題が大きく取り上げられる中、人口減少防止対策の参考とするため、子育て環境に関する項目を中心に調査しました。

本市の子育て環境としては、地域ぐるみの子育て支援や相談体制、小児医療体制の充実および子どもの保育・教育環境の充実について、約半数の人が「良い」と答えています。

ふれあいアンケート結果



Q 新たな計画策定に当たり引き続き主要項目とすべきものは何ですか。(複数回答 上位5位)

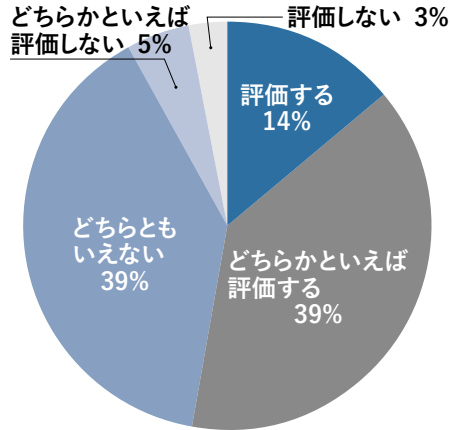


Q 市が行財政改革に取り組んでいることを知っていましたか。

行財政改革

◎解説 本年度まで推進してきた行財政改革大綱およびその実施計画を評価し、新たな計画策定の参考にするため調査しました。行財政改革の推進については、24割の人が「知っていた」と回答しました。

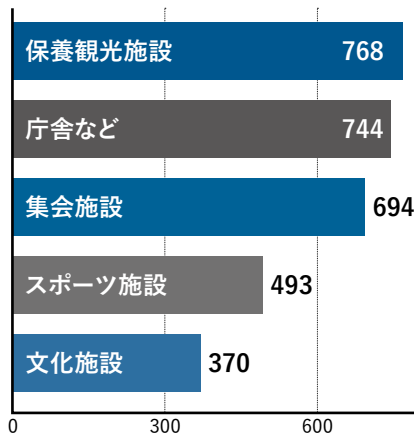
新たな計画策定に当たり、引き続き主要項目とすべきものは「職員の意識・行動改革」が最も多くなっていました。また、これまで取り組んできた行財政改革について53割の人が「評価する」と回答しました。



Q これまでの取り組みを評価しますか。

◎解説 高度経済成長期に整備された社会インフラや、公共施設の老朽化が全国的な社会問題となっています。今回、これからの施設のあり方を検討するため調査しました。

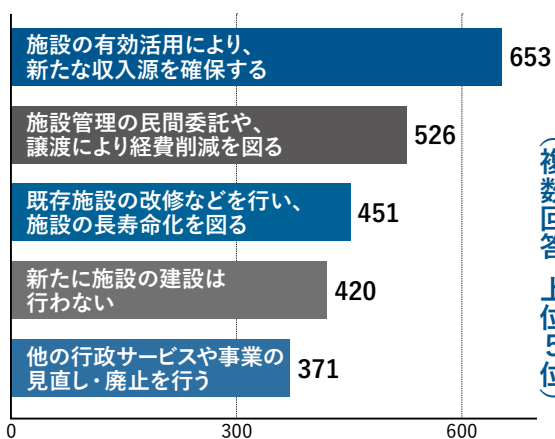
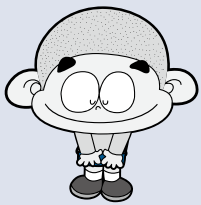
日常生活で利用する機会の多い公共施設は、「保養観光施設」が最も多くなっています。また、今後も公共施設を維持していくためには、「施設の有効活用により、新たな収入源を確保する」が最も多くなっていました。



Q 利用する機会が多いのは何ですか。(複数回答 上位5位)

公共施設のあり方

◎終わりに 今回、1,340人の市民の皆さんに、市の取り組みなどについて、アンケートに答えてもらいました。市では「笑顔あふれるまち スマイルシティ都城」の実現に向けて、調査の結果や寄せられたご意見を、市政運営に役立てていきます。



Q 施設を維持していくためにどうすべきですか。(複数回答 上位5位)

日韓近代美術家のまなざし 「朝鮮」で描く

日韓国交正常化50周年となる今年、神奈川県や新潟県、北海道など巡回する特別展を、本市でも開催します。20世紀前半における日本と韓国の美術、そして美術家同士の交流に焦点を当てます。

◎問い合わせ 美術館 ☎25-1447

日本と韓国の近代美術家たち

多くの矛盾に満ちた「近代」という時代、日韓両国の美術家たちは、社会的な限界を越えようとするまなざしを持ち、芸術的な表現力で個々の世界観を深めていきました。

本展では、日韓の美術家たちが、東洋画や洋画、彫刻、工芸など幅広い分野で、20世紀前半の朝鮮半島をどのような空間としてとらえ、表現したかに焦点を当てて紹介します。



高義東「程子冠をかぶる自画像」
(東京藝術大学蔵)

展示のみどころ

近代人の日常

旅行者として韓国を訪れた日本人美術家の多くは、川辺での洗濯や伝統衣装を着た人々にぎわう市場など、日常生活の中の伝統的な側面を魅力的なモチーフとして表現しています。

一方で、韓国の美術家たちは、近代建築が建ち並ぶ都市の風景や洋装の人物など、近代化の進む日常を生きたきと描いています。



李仁星「黄色いワンピースの婦人像」
(個人蔵)

近代「朝鮮」の風景

古来の聖地であり、近代には一大観光地となった金剛山などは、日韓の美術家が共に描いています。同じ対象でも表現の違いを感じることが出来ます。



山内多門「金剛山」

本市ゆかりの美術家たち

この時代、本市の名誉市民でもある山田新一は朝鮮美術展覧会で活躍し、小牧正美も京城師範学校を出て教職に就いていました。山内多門や益田玉城は旅行者として朝鮮の風景を描き、「金剛山」や「笛の音」は市立美術館収蔵品の目玉にもなっています。

これら本市ゆかりの作品の中で、複雑な時代の文化が、どのように表現されているかも、今回の特別展の見所の一つです。



益田玉城「笛の音」

●会期 10月23日(金)～12月6日(日)
9時～17時(入館は16時30分まで)

●場所 都城市立美術館

●入館料 一般800円(6000円)、
高校・大学生6000円(4000円)、
中学生以下は無料

※(一)内は前売り、20人以上の団体、
65歳以上、障がいのある人の割引料
金。都城島津伝承館と都城歴史資料
館で開催している特別展や企画展
の入場券の半券を提示した人は割
引料金で観覧可

※11月3日(火)(文化の日)は無料。11
月15日(日)(家庭の日)は高校生以下
同伴の保護者は無料

関連事業

●定員 各30人

【映画ロビー上映】

「道と白磁の人々」

●日時 10月30日(金)、11月13日(金)・
20日(金) 18時～

「ふたつの祖国、ひとつの愛イ・ジュ
ソップの妻」

●日時 11月6日(金) 18時～

※特別展チケットまたは半券持参で
無料。当日整理券を配布します

【美術鑑賞講座】

●日時 11月15日(日) 14時～

●定員 20人程度

【学芸員によるギャラリーツアー】

●日時 10月24日(土)、11月14日(土)

13時30分～

かけがえのない体験をしよう

ジュニア・リーダー

中学生や高校生自らがさまざまな催しを企画・運営したり、子ども会活動などをサポートしたりするジュニア・リーダー。イベントなどを通して地域を盛り上げています。さまざまな体験ができるジュニア・リーダーの活動に参加してみませんか。

◎問い合わせ 生涯学習課 ☎23-9545

ジュニア・リーダーって何？

ジュニア・リーダーは、地域の子ども会で良き相談相手や話し相手となって、一緒に活動の計画を立てたり、レクリエーションの実技指導をしたりします。

本市にはジュニア・リーダークラブ蒲公英かんぼへいがあり、現在16人のメンバーが子ども会活動に参加する小・中学生をサポートしています。



子ども会活動をサポート

ジュニア・リーダーの役割

子ども会活動のサポート

それぞれの地域で活動する子ども会の「十五夜まつり」や「クリスマス会」などの行事を、子どもたちと一緒に計画し、活動をサポートします。

学校の活動をサポート

各学校で実施される学年・学級レクリエーションやキャンプなどに、子どもたちが楽しく参加できるようにサポートします。

子どもフェスティバルをサポート

子どもフェスティバルの計画や準備などに関わり、実行委員の子どもたちがやりたいことをイメージしやすいようにアドバイしたり、それぞれのグループをまとめたりします。

みんなで楽しく学ぼう ジュニア・リーダー教室

市では、講座やキャンプなどの活動を通して、ジュニア・リーダーとしての心得を学ぶ教室を開催しています。

- 日時 11月～平成28年3月
- ※月に2回程度、土曜日に開催
- 場所 中央公民館ほか
- 対象 市内の小学6年生～中学生3年生



メンバー間の交流を深めるキャンプ

アイデアいっぱい 子どもフェスティバル

市内の小学5・6年生が子ども実行委員となって企画する子どもフェスティバル。毎年、さまざまな催しでにぎわいます。

- 日時 10月18日(日) 10時～15時
- 場所 コミュニティセンター周辺
- 主な内容 子どもたちがおぼけ役になる本格的な「お化け屋敷」、景品流しなどのミニゲームコーナー、アクセサリーなどを作る手作り体験コーナーなど



子どもフェスティバル

インタビュー 森木翔也さん



いろいろな人と関わることに興味があり、昨年からジュニア・リーダーとして活動しています。

同世代の人たちのさまざまな意見を聞いたり、自分の考えを相手に伝えたりしながらイベントの企画などを行います。この活動を通じて培ったコミュニケーション能力は、普段の生活でも役立っています。

みんなで協力して一つのものを作り上げる達成感が得られ、自分を変えるチャンスにもなります。ぜひ、参加してみてください。

第10回

都城市環境まつり

●日時 10月24日(土) 10時～16時 ※雨天決行
●場所 都城市リサイクルプラザ「さいせい館」(下水流町)

環境にちなんだ展示や体験コーナー、リサイクル品の抽選販売など、多彩なイベントを開催。家族そろって来場ください。

◎問い合わせ・申し込み 環境政策課 ☎23-2130

楽しく学んで
資源を有効に活用しよう!

ソーラーバツタ

親子製作教室

小学生の親子30組

●時間 13時～15時

●参加費 500円

※事前申し込みが必要(当日の製作は申し込み順)

磁石をデコっちゃおう! (無料)

冷蔵庫をリサイクルする時に取り出した磁石を使った装飾体験。

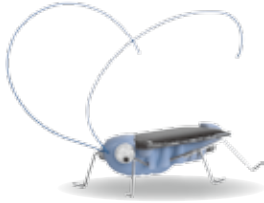
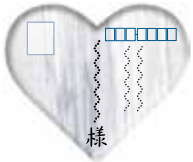
オリジナルペーパースコップを作ろう (無料)

牛乳パックを使って、犬の散歩に携行できるペーパースコップを作ります。

廃材ではがきをつくらう

手作りの木製はがきで、大切な人に手紙を送ってみませんか。

●参加費 150円



配布・交換・回収

- いずれも数に限りがあります。
- 緑化木や手作り堆肥の無料配布
- 500ミリペットボトルに入れた廃食油を野菜や花の苗と交換
- 指定ごみ袋大1袋分のつぶしたアルミ缶をドレスタオルと交換
- 霧島酒造の焼酎パック5枚をトイレットペーパー1個と交換
- ※一世帯20個まで

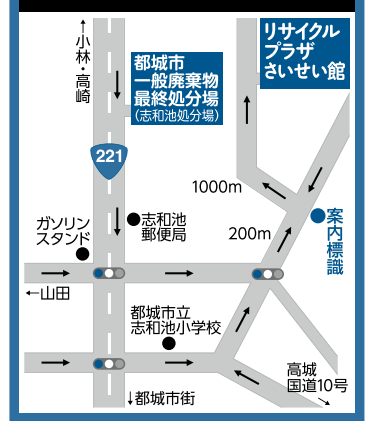
楽しく遊ぼう

巨大段ボール迷路

5歳四方の段ボールを組み合わせた巨大迷路が出現。難コースに楽しくチャレンジしてみよう。



会場案内図



展示・その他のコーナー

井戸水の硝酸態窒素の無料検査

500ミリ以下のペットボトルに井戸水を入れて持参ください。

※先着100人

発電体験コーナー

電力会社の実施する、エネルギー変換実験器を使った発電を体験できます。

おもちゃの病院

壊れたおもちゃを無料で修理します。ただし、材料費が必要な場合があります。当日修理できないものは、後日引き渡します。

リサイクル古本市

古本を一冊10円で販売します。

飲食店コーナー

手作りそばや肉巻きおにぎり、ケーキなど、飲食店も多数出店します。



リサイクル品の抽選販売

家庭で不用になった家具や自転車を再生して、希望者に抽選販売します。

販売品目

家具 類全般、自転車(子ども用含む)、生活雑貨

※詳しくは市ホームページに掲載

※販売品の配達はできません

応募資格

都城市または、三股町在住の18歳以上の人

応募方法

応募用紙に必要事項を記入し、さいせい館事務所の応募箱へ投函ください

※電話、ファクスでの申し込みはできません。家具、自転車は一人当たり各1点のみ応募可(重複無効)

応募期間

10月11日(日)～10月24日(土)(環境まつり当日) 12時まで

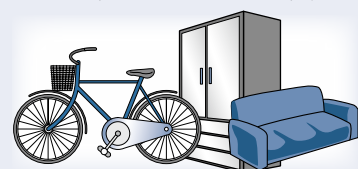
※10月13日(火)・18日(日)・20日(火)はさいせい館が休館

抽選方法

10月24日(土)14時頃から環境まつり会場で抽選発表 ※発表時に会場にいない場合は、当選無効。応募半券があれば代理でも可

問い合わせ

さいせい館 ☎36-3900



みやこんじよ弁ラジオ体操第1 笑顔と健康を届ける体操の 誕生秘話



都城地域の方言で語り、誰もが笑顔で健康になれるみやこんじよ弁ラジオ体操第1。今回は、みやこんじよ弁ラジオ体操第1誕生のエピソードを紹介します。

◎問い合わせ 総合政策課 ☎23-2115

「みやこんじよ弁ラジオ体操第1」に込める市長の思いを聞きました

東日本大震災発生後、被災地の仮設住宅では、毎朝、被災者とボランティアの人たちがラジオ体操を行っていました。そこでは、ラジオ体操には集まるけれど、震災の影響で元気も笑顔もなく、体操をしているといった状況でした。

そのことを心配した地域の男性が、一人でも多くの人を和ませ、笑顔と元気を届けたいという思いから、体操の掛け声を、地域の方言に替えたラジオ体操を製作したそうです。ある朝、その方言ラジオ体操を流したところ、それまで元気のなかった人たちが、慣れ親しんだ方言の明るい掛け声で、笑顔になって元気を取り戻したそうです。その後、方言ラジオ体操は、地域全体に広がり、

「笑顔と元気の輪が大きくなった」という話を聞きました。

そこで、私は「みやこんじよ弁」でラジオ体操を作ったら「市民の皆さんが笑顔になってくれるのではないか」との思いから、今回、製作を指示しました。

産声をあげた「みやこんじよ弁ラジオ体操第1」。慣れ親しんだ方言で、きつと笑顔になれます。併せて、ラジオ体操の効果で健康づくりにも繋がっていただきたいと思います。



産声をあげた「みやこんじよ弁ラジオ体操第1」

都城地域の方言に詳しい市民6人で構成する検討委員会を設立し、作詞。世代を超えて笑顔になることができるラジオ体操が誕生しました。



併せて、みやこんじよ弁が字幕が入った動画も製作。多くの市民の皆さんに出演してもらったこと、本市の元気を全国に発信することができました。

※動画は、インターネットで見ることが出来ます

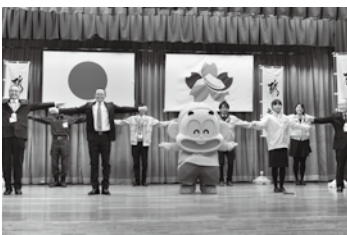
広がる「みやこんじよ弁ラジオ体操第1」

音源(CD) 1月5日の仕事始め式で、体操を初披露。

その後、市内の小中学校や保育園、幼稚園、各種団体などをはじめ、市内外の皆さんにもCDを配布。さまざまな行事や大会などで利用されています(9月15日現在の配布枚数約7,000枚)。

動画

1月20日、動画投稿サイトYouTubeやフェイスブックを通して発



信。再生回数は、9月15日現在で約8万5,000回となりました。また動画を収めたDVDを製作し、体育指導員やみやこんじよ健康づくり会に配布して、イベントや、スポーツを始める前の準備運動に役立ててもらっています。

市民の皆さんから寄せられたご意見やご要望

「毎朝、職場でラジオ体操をしているので使いたい」、「スポーツ教室で利用しているが、はじめて聞いたときは笑ってしまった」、「よく耳にする都城弁が、笑顔を誘い、心を元気にしてくれる」、「よく分からないけれど、面白い」などのうれしい意見が寄せられています。

また、市外や県外在住の本市出身の人たちなどから、CDを送ってほしいといった要望も数多く寄せられています。

活用ください

総合政策課(本庁4階)、各総合支所地域振興課、各地区市民センターで、CDを無料配布しています。

※市ホームページから音源をダウンロードできます。また、動画DVDの貸し出しも行っていますので、総合政策課まで問い合わせください

言葉遊びに想像膨らむ

絵本作家による読み聞かせとワークショップが8月23日、高城生涯学習センターで開催されました。絵本好きな親子10組が参加。親子らは、作家自身による読み聞かせや言葉を使った遊びに耳を傾け、絵本の面白さを体感していました。また、ワークショップでは開くと飛び出すカードを作り、好きな色を塗ったり絵を書いたりして楽しんでいました。家族で参加した花田夕里歌ちゃん（4歳・吉尾町）は「動物が出てくる絵本が大好き。今日は、象の話があったのでうれしかった」と、絵本への興味を深めていました。



絵本作家による読み聞かせ

これからのまちづくりを考える

8月に着任した、中心市街地活性化タウンマネージャーの二宮啓市さんによる講座が8月27日、ウエルネス交流プラザで開催されました。市民80人が参加し、北九州市で実践した、空き店舗を改修して活用する「リノベーションまちづくり」の手法を紹介。眠っている不動産を管理運営する「家守組織」を育て、共にまちの再生に取り組もうと訴え掛けました。榎田志穂さん（三股町）は「意欲的に活動しているたくさんの人たちがつながることで、まちなかにぎわいづくりができる実感した」と話していました。



都城タウンマネージャー講座

健康と長寿の願いを込めて

今年度、100歳を迎える76人と最高齢者に贈る長寿祝いの湯のみ窯出しが8月27日、吉之元町の工房で行われました。湯飲みには、一つ一つ名前が書かれ丁寧に仕上げられています。都城焼窯元の宇都野暁さんは「今年も湯飲みを作る大役が果たせたとすがすがしい表情を浮かべていました。」



大淀川こどもサミット

川の大切さを再確認

体験して河川環境の大切さを学ぶ「大淀川こどもサミット」が8月23日、下沖水橋河川敷のせせらぎ水路公園で開催されました。約170人の子どもらが参加し、魚のつかみ取りや大淀川にすむ魚の展示、河川のごみに関するクイズなどを楽しみながら、水辺の環境の大切さを学んでいました。



長寿祝いの湯のみ窯出し

大規模災害に備える

南海トラフ巨大地震を想定した県防災訓練が8月30日、本市を含む県南地域各所で行われました。津波により沿岸部が被災したことを想定して、救済物資の搬送やボランティア派遣など、被災地支援の訓練を初めて実施。また、救命講習や消火訓練も行われ、参加者らは防災への意識を高めました。



宮崎県総合防災訓練

大切な一票を無駄にしないように

選挙権年齢が18歳以上に改正されることに伴い、若者に選挙の仕組みと有権者としての自覚を促す選挙出前講座が8月28日、都城泉ヶ丘高校で行われました。同校の2、3年生約520人が参加し、市選挙管理委員会から選挙の歴史や最近の投票状況などの説明を受けた後、模擬選挙を実施。生徒らは緊張した面持ちで、一つ一つ手順を確認しながら投票しました。前田一成さん(2年)は「投票までの流れが、慎重に管理されていることに驚いた。一票を無駄にすることがないよう、必ず選挙に行きたい」と力強く話しました。



選挙出前講座

長寿と健康を祝って

敬老の日を前に、100歳を迎える市内の高齢者を祝う世帯訪問が9月3日、市内の各所で行われました。今年度、市内の100歳到達者は76人。市内最高齢となる篠原サカエさん(107歳・今町)を池田市長が訪問し、祝い状と一緒に名前が書かれた大湯飲みや花束を贈り、長寿を祝いました。明治41年生まれで、今町にある一里塚の清掃活動などで表彰を受けたこともある篠原さんは、贈られた祝い状の文面を大きな声で読み上げると、「ありがたいことです」と感謝の気持ちを述べていました。



高齢者世帯訪問

趣向を凝らした展示でお出迎え

重陽の節句「のちの雛展」が9月5日から20日まで、旧後藤家商家交流資料館で開催されました。無病息災を願う風習に合わせて、虫干しのため、同館が所蔵するひな人形など趣向を凝らして展示。来場者らは、節句のいわれを聞いたり、展示物を眺めたりしながら、味わい深い雰囲気を楽しんでいました。



ビーチバレー霧島酒造オープン

砂上の息詰まる熱戦

ビーチバレー霧島酒造オープンが9月4日から6日まで、霧島ファクトリーガーデンで開催されました。山之口町出身の徳丸信代選手など、国内トップアスリート24組が出場。プロ選手の華麗なプレーを一目見ようと多くの来場者が訪れ、息詰まる熱戦に観客席からは歓声が沸き起こっていました。



重陽の節句「のちの雛展」

ちびっ子アスリートの熱き挑戦

水泳や自転車、長距離走の合計タイムを競う、きりしまんちだジュニアトライアスロン大会が9月6日、高城観音池公園で開催されました。市内外から健脚自慢185組・243人がエントリー。起伏に富んだコースでタイムを競う選手らに、詰め掛けた観客からは熱い声援が送られていました。



ジュニアトライアスロン大会